

令和6年度入学者一般選抜入学試験問題

(C日程 国際地域学部)

小論文

注意事項

- 1 試験時間は、午前10時から午前11時30分までである。
- 2 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 3 この試験では、問題冊子(5ページ)、解答用紙3枚及び下書き用紙1枚を配付する。
- 4 試験開始の合図があつてから、解答用紙に受験番号を必ず記入すること(氏名の記入は不要)。解答用紙は3枚あるので、必ず3枚すべてに記入すること。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に縦書きで記入すること。所定の解答欄以外に記入した解答は無効である。
- 6 問題冊子及び解答用紙にページの欠落や印刷不鮮明な部分等がある場合は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
- 7 原則として、試験時間中の途中退室は認めない。ただし、具合が悪くなつた場合、トイレに行きたくなつた場合等は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
- 8 試験終了の合図があつたら直ちに筆記用具を置くこと。
- 9 試験終了の合図があつて筆記用具を置いたら、机の上に問題冊子と下書き用紙を重ねて置き、その上に表おもてにした解答用紙を問一の解答用紙が一番上、問二(1枚目)の解答用紙が二番目、問二(2枚目)の解答用紙が最後になるように重ねて置くこと。
- 10 試験監督者の許可があるまで退室しないこと。

次の文章を読んで設問に答えなさい。

ある行為が差別かどうかを考えると、「何を」「誰が誰に」「どのように」の三要件をみていく必要がある。アメリカの法学者デボラ・ヘルマンは差別の定義に「異なる扱い」と「ある特徴の有無を理由とする」という二点を含めている。つまり、差別とはある特徴の有無を理由として異なる扱いをすることである。一つめの「異なる扱い」とは、「何を」に関する要件で、行為や言葉などで表現されたこと（＝「扱い」）が、ある人と別の人では違うことである。二つめの「ある特徴」とは、「誰が誰に」の「誰に」に関する要件であり、ヘルマンが「歴史的迫害や社会的周縁化」特徴 (history of mistreatment or current social disadvantage) と呼ぶもので、ひどい扱いを受けてきた歴史があったり、現在、社会的に不利な立場に置かれていたりすることである。同じ行為であっても、この特徴を有するグループに向けられたものであれば差別になるが、そうでないグループに対するものは差別とはなりにくい。

「歴史的迫害や社会的周縁化」特徴の具体例が、本章の冒頭で引用した世界人権宣言の第二条一項「人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、門地その他の地位」の部分である。この条項で明記されている特徴は、これらによって周縁化、抑圧、排除、迫害、虐殺された過去やそのような状況にある現在を踏まえてのことだろう。デンマークの政治哲学者カスパー・リパート＝ラスムスは、「歴史的迫害や社会的周縁化」特徴をより抽象化し、「幅広い文脈での社会的相互行為に影響を与える重要な」特徴がある集団を「社会的に際立つグループ」(socially salient groups) と呼んだ。この概念を使えば、世界人権宣言第二条一項のようにリ

スト化することで排除される特徴を含めることができ、多様な状況に柔軟に対応できるという利点をもつ。この条項には障害やセクシュアリティは明記されていないが、いま同じような宣言を作るとすれば明記すべきという意見が出てくるだろう。このように「社会的に際立つグループ」という概念は有効な部分もある。

(中略)

三つめの「どのように」の要件は、異なる扱い（「何を」の要件）がどのようなものであれば不当であり、したがって差別になるのかに関わる。この要件にあたるのがヘルマンが主張する「貶めること」(demeaning) だろう。貶めることは「他の人を価値において劣った者として扱うこと」であり、さらに「表現行為と権力の結合」である。つまり、貶めることとは、権力を背景に他者を劣位に置くことを行為や言葉で表すことである。したがって、「異なる扱い」が他者を劣った者として扱うものでない場合や、たとえ他者を劣った者として扱うようなものでも、権力関係での「強者」（歴史的迫害や社会的周縁化）特徴をもたない側の行為ではない場合には差別にならないことがある。したがって、貶めることは、「何を」の要件と「誰が誰に」の「誰が」という要件にも関わることになる。

加えて、どのような行為が貶めることにあたるのかは文化や社会の文脈によって異なる。例えば、ネルソン・マンデラが政治犯として十八年間収監されていた南アフリカのロベン島では黒人は短パンをはかなければならず、白人やそのほかの有色人種は長ズボンをはくことが許されたという。日本で育った人にはそれがなぜ黒人を貶める行為なのかかわかりにくい、南アフリカでは

短パンは子どもが身に着けるものという文化的理解があり、それを黒人だけに強要することは黒人を子ども扱いしているため、貶めていることになる。

「何を」「誰が誰に」「どのように」という三要件を、具体例で考えてみよう。例えば、日本国内で在日コリアン²が運営する高齢者施設では「日本人」介護士よりも在日コリアン介護士を優先的に雇用し、「日本人」が運営する高齢者施設では「日本人」介護士を在日コリアン介護士よりも優先して雇用していたとする。三要件に基づいて考えると、前半のケースは差別とはいえないが後半のケースは差別になるだろう。

まず、どちらのケースも在日コリアンと「日本人」に対して異なる扱いをしていて、「何を」の要件では同じである。次に「誰が誰に」の要件である。前半のケースでは、在日コリアンが「日本人」に、後半のケースでは「日本人」が在日コリアンに対する行為が問題になっている。在日コリアンは「歴史的迫害や社会的周縁化」特徴を有し、この行為が権力を背景としたものとはいえないが、「日本人」は日本社会のマジョリティであり、権力を背景とした行為になる。最後に「どのように」の要件である。前半のケースで「日本人」を雇用しないことは貶めていることにならないが、後半のケースで在日コリアンを雇用しないことは貶めていることになる。なぜなら、行為者が「日本人」であること、そしてこの行為が在日コリアンの労働の権利を侵害し、在日コリアンの

人権を「日本人」より劣つたものと扱うことになるからである。在日コリアンが運営する高齢者施設は非常に少なく、この施設に「日本人」が就職できなかったとしても、数的に圧倒的に多い「日本人」が運営する施設で優先的に雇用されるため、労働の権利を侵害するとはいえない。しかし、在日コリアンの場合には大部分の施設で不利な条件に置かれることになり、労働の機会が奪われることになる。加えて、第4章でも述べたように³、日本では「日本人」が国籍を理由に在日コリアンを雇用や社会保障などから排除してきた歴史的な背景もある。

ある行為が差別かどうかの判別ではなく、差別が起こるプロセスをよく理解できるのが、社会学者・佐藤裕による差別の三者関係モデルである。佐藤は人権に基づく差別の捉え方を差異モデルとし、これに加えて関係モデルという別の捉え方を提唱する。そして、この二つのモデルは「扱う問題が異なるということではなく、(略)別の切り口」だとしている。差異モデルでの差別行為は異なる扱いであり、そのような「結果」が不平等で権利を侵害するから不当だとするものである。

一方、関係モデルでは差別行為は排除であり、排除を生み出す「原因」、つまり権力関係の非対称性を不当だとする。そして、差別は差別者と被差別者の二者だけが関わるものではなく、差別者に同調する共犯者を含めた三者が関わ

¹ ネルソン・マンデラ(一九一八―二〇一三) 南アフリカ共和国の政治家。アパルトヘイト撤廃に尽力した。

² 在日コリアン 朝鮮半島にルーツを持ち、主に植民地期(一九一〇―一九四五年)の前後に日本に居住することになった人々およびその子孫を指す。

³ 本書の第4章で述べられている在日コリアンの国籍をめぐる問題を要約すると、以下のとおりである。日本は一九五二年のサンフランシスコ講和条約の発効と同時に、植民地出身者(朝鮮人・台湾人)の日本国籍を一方的に奪い、在日コリアンは「外国人」とされた。一九八一年に日本が国連の難民条約に加入し、国内法を変更するまで、在日コリアンは法律で規定される「国籍条項」によって国民健康保険、国民年金、児童手当などの社会保障制度の対象から排除されていた。現在でも、在日コリアンは日本国籍者と同様の納税義務があるにもかかわらず、「国籍要件」によって地方参政権すら認められていないなど、多くの問題が残っている。

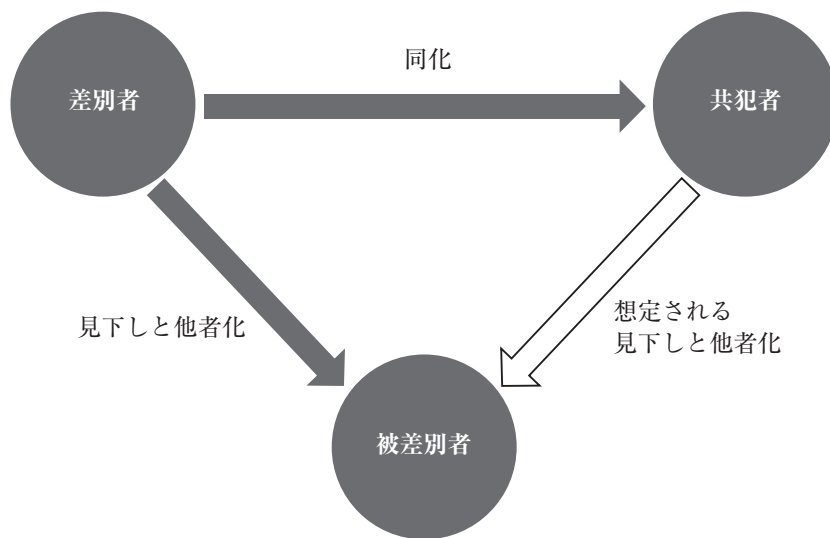


図5 差別の三者関係モデル

(出典：佐藤裕『新版 差別論——偏見理論批判』〔(明石ライブラリー)、明石書店、2018年〕73ページをもとに筆者作成)

るとし、三者関係モデルによる差別(排除)を「ある基準を持ち込むことによつて、ある人々を同化するとともに、別のある人々を他者化し、見下す行為」と定義している(図5を参照)。「同化」とは「同じ立場に立つことを要請するメツ

セージを送る」ことで「われわれ」を形成すること、「他者化」とは「非対称な差異を作り出すこと」で「われわれでない者」を形成することであり、「同化」と「他者化」は同時に起こる。そして、その差異には「われわれ」の基準に基づいて「負の価値」がつけられるが、それが「見下し」である。

この三者関係モデルを使うことで、差別のある時点での言動としてだけでなく、より動的に、そしてその歴史性を含め、差別をより立体的に捉えることができる。まず、「歴史的迫害と社会的周縁化」特徴は被差別者がもともと持っているものではなく、差別行為が積み重ねられた結果だということである。三者関係モデルで差別とは「非対称な差異を作り出す」ことで「同化」と「他者化」をおこなうことだが、このような差異に負の価値づけがなされ、それが継続することで「歴史的迫害と社会的周縁化」特徴になっていく。次に、「誰が誰に」の要件について、差別者(「誰が」と被差別者(「誰に」)は、「非対称的な差異」に基づき、「同化」そして「他者化」されることで生み出されること、つまりアイデンティティにも関わるのが理解できる。(中略)例えば、「日本人」が朝鮮半島につながる人々を差別することが、同時に「日本人」や在日コリアンという集団を作り、そして在日コリアンが「歴史的迫害と社会的周縁化」特徴をもたされるようになるのである。

三者関係モデルを具体例で考えてみよう。中国出身の母親と「日本人」の父親をもつAさんは、「一番スタンダードな暴言」として「国に帰れ」という言葉を挙げ、学校でいじめられるときだけではなく、冗談としてもこの言葉をよく投げつけられてきた。Aさんは「みんなですごく面白がって笑う。どつと笑うので、笑われるとまた傷つくんですね。冗談というのはもうわかっているんですけど、「国に帰れ」はほんとうに慣れない」と語っていた。ここで、「国

に帰れ」と言った発言者（差別者）は、母親が「外国人」の場合は「日本人」とは違うという基準で、Aさん（被差別者）を日本にいるのが当然ではない存在として見下して他者化している。しかし、Aさんに対する差別（≡排除）は、発言者だけではなくそれに同調して同化される人（共犯者）が必要である。笑うことで「日本にいるのが当然」の「われわれ日本人」というグループが形成され、中国出身の母親をもつAさんは「われわれではない者」として排除されるのである。もし周りの人たちが一齐に面白がって笑わないで「なぜそんなことを言うのか」と発言者を批判すれば、「われわれ日本人」は形成されないため、Aさんがそこから排除（≡差別）されることもない。「国に帰れ」は外国にルーツをもつ人々によく投げつけられる言葉であり、このような差別の実践が繰り返されることで、「日本人」の両親をもたないという差異が「歴史的迫害や社会的周縁化」特徴になり、「日本人」と「日本人でない者」が形成されていく。つまり、構造が作られていくのである。

このような日常的な差別の実践は、人種主義のミクロの構造的側面に関わるものである。「国に帰れ」という言葉は法務省もヘイトスピーチの例として挙げていて、差別であることがわかりやすい例である。しかし、このような直接的な言動だけではなく、間接的な言動、無自覚な言動が人々を傷つけることがある。

出典…河合優子『日本の人種主義―トランスナショナルな視点からの入門書』

青弓社、二〇二三年 一部抜粋、注と傍線は出題者による。

設問

問一

傍線(一)「同じ行為であっても、この特徴を有するグループに向けられたものであれば差別になるが、そうでないグループに対するものは差別とはなりにくい」とあるが、それには本文中の「差別の三要件」が深く関係している。そこで、「差別の三要件」をふまえて、雇用をめぐる以下の二つの出来事がそれぞれ差別に当てはまるかどうかを、理由とともに述べなさい。(三〇〇字以内)

- ・コンビニのアルバイトの求人条件が「日本人限定」だった
- ・男性職員が八割を占める研究所が出した職員の公募に、「女性限定」という条件がついていた

問二

本文の後半部で、著者は「差別の三者関係モデル」について取り上げながら、差別が人々の関係(差別者、被差別者、共犯者)をとおして生み出される構造を説明している。傍線(二)にあるように、「三者関係」によって生み出された差別は、私達の身近なところで日々起きているといえる。

以下は、高校生「A」「B」の会話を創作したものである。この場面で差別がどのように生み出されているか、本文の内容を参考にしながら述べなさい。さらに、あなた自身を最後に発言を求められる「C」と仮定し、AとBの差別の「共犯者」にならないためにはどのように発言をするべきか、あなたの考えを述べなさい。(六〇〇字以上八〇〇字以内)

A…Dさんったら、また一人で勉強してるよ。期末試験で学年一位だったらしいけど、他に趣味とかないんだろうね。

B…だよ(笑)。ていうか、女子が勉強できても意味ないよね。結婚したら夫に養ってもらえばいいんだし。

A…ほんとそれ(笑)。ていうかEさん、またノートに変なアニメのキャラクター描いてるんだけど。キモくない？

B…ほんと、オタクでキモい。もしかしたら二次元にしか興味ないのかもね(笑)。

A…確かに(笑)。ほんと、DもEも暗いよね。何が楽しいんだろう。AとB…Cはどう思う？